

「のどからの風」展

2024年

大地震後、私たちは

こう生きてきた

— 能登の障害者支援事業所の取り組みから —

写真パネル展

20か所余りの事業所の震災当時の様子などを多数展示



商品販売

能登の事業所で製造している食品やグッズを販売
食べて、買って、応援を！



現地からの報告

地震当時の様子やその後の取り組み、みなさんに伝えたいことなどを話していただきます

※報告会は27日(日)10:30~12:00

10月26日(土)

10月27日(日)

両日

10:00~15:00

羽咋勤労総合福祉センター
(シルバー人材センター)



主催：一般社団法人つながり

共催：ゆめ風ネット加賀・ひまわり教室・NPO法人地域支援センターポレポレ・のどじょネット

お問い合わせ

一般社団法人つながり 地域サポートハウス楽生 TEL/FAX 0767-26-0807
〒925-0025 羽咋市太田町い75-1

「のどからの風」展へのお誘い

1月1日のあの大地震から、まもなく10か月がたとうとしています。
あの日能登半島を襲った大地震は、能登の人々の日常生活を丸ごと奪ってしまいました。
10か月近くたった今も、能登のみなさんの日常が戻る見通しが全く立っていません。

今度の地震では、能登にある障害者支援事業所も大きな被害を受けました。
今もそれぞれの事業所では多くの困難をかかえながら、くじけずに取り組みを重ねています
私たち「ゆめ風ネット加賀」では、発災直後から被災した事業所の支援をしてきました。
これからも、まだまだ支援が必要だと思っています。

加賀地方の人たちに能登にある障害者支援事業所の人たちが大地震後どう生きてきたかを
お伝えし、支援の輪をより広げたいと思い、今回この催しを企画しました。

ぜひ時間を作って、どこかの会場に足を運んでみて下さい。
そして、能登の障害者支援事業所のみなさんと心をつなげ、共に生きていってください。

なお、この企画は、NPO法人ゆめ風基金より全面的な資金援助を
いただくことで進められています。
深く感謝致します。

ゆめ風ネット加賀

「羽咋」で開催するにあたり

一般社団法人つながり

私たちつながりは、「のどからの風」展 金沢・小松会場にメンバーと共に参加させていただきま
した。写真パネルを見て、報告会のお話を聞いて、今回の地震のすさまじさを改めて感じました。

一緒に参加したメンバーのTさんの家は全壊、帰る家がなくなり、今はグループホームで暮らし
ています。写真を見た時、あの日のことを思い出したのでしょうか。彼は背を向け涙を流し、報告会
のお話を聞いた時には、嗚咽し号泣しました。そんな彼の気持ちを伝えたいと思っています。

暮らしも仕事も、心も、まだまだ復興していないことを実感しています。
あの日、能登で何が起こり、今の暮らしはどうなっているのか、能登で暮らす私たちが伝えなけれ
ばと思いました。羽咋で開催することで、奥能登の方々も一緒に参加できるかもしれない、そんな
ことも考えました。そして、地震につづき9月の豪雨被害、ニュースを見るたびに心が痛みます。
大変な状況の中で、奥能登の方々に参加のお願いをしてもいいものだろうか、と悩みました。でも、
今だから、いろいろな方々と出会い、つながり、もっともっと応援の輪を広げていきたいと思っ
ています。ご来場、お待ちしております。

【ゆめ風基金とは？】

1995年の阪神淡路大震災から続く

被災障害者への支援

ゆめ風基金は、1995年阪神淡路大震災をきっかけに被災障害者の救援を目的として、永六輔さん、小室等さんら著名人と 障害者、支援者の呼びかけで発足しました。以来これまで延べ502件の支援を行い、拠出した被災障害者救援金・救援活動費は5億8404万円にのぼります。

能登半島地震では、いち早く障害者救援活動を開始、今も障害者の生きる場・働く場の復興を応援しています。

場所：羽咋勤労総合福祉センター(シルバー人材センター)

※のど里山海道千里浜インター降りて1分
「道の駅 のど千里浜」向かい

日時：10月26日(土) 10:00~15:00

10月27日(日) 10:00~15:00

*「現地からの報告会」

27日 日曜日のみ、10:30~12:00 となります。

【要約筆記あり】

※配慮が必要な方は事務局までご連絡ください。

0767-26-0807 (一般社団法人 つながり 地域サポートハウス楽生)